

# 久喜市議会だより

No.8

平成24年2月15日

発行/久喜市議会 編集/久喜市議会広報委員会 〒346-8501 久喜市下早見85の3 ☎0480(22)1111(代)  
 FAX 0480(21)6061 [HP] <http://www.city.kuki.lg.jp/section/gikai/gikai.html> [E-mail] [gikai@city.kuki.lg.jp](mailto:gikai@city.kuki.lg.jp)



初詣でにぎわう鷲宮神社（提供：鷲宮商工会）

## 《日曜議会を開催します！》

2月26日に日曜議会を開催いたします。議事の内容は、市長の施政方針演説に対する各会派の「代表質問」です（市長の施政方針演説は、2月14日(火)に行われる予定です）。

平日は傍聴に来られない方など、この機会に市議会を傍聴してみませんか。なお、受付は当日の先着順となりますので、予めご了承ください。

### ◇11月定例会の概要……………(2)

- 可決** 久喜市自治基本条例
- 久喜市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

### ◇提出議案とその結果……………(3)

市長提出 **19**件、議員提出 **4**件、請願 **4**件

### ◇討論……………(4)

### ◇委員会付託議案とその結果……………(5)

### ◇市政に対する一般質問……………(6)~(14)

~**27**人が市政を問う!!~

### ◇委員会の視察及び議員研修……………(15)

- 山形県山形市、秋田県秋田市他…………… 環境建設水道常任委員会
- 滋賀県彦根市、京都府京田辺市他…………… 福祉健康常任委員会
- 群馬県太田市、埼玉県本庄市…………… 文教常任委員会

### ◇意見書・陳情他……………(16)

## 2月定例会のお知らせ

平成24年2月定例会は、次の日程で開催中です。

月 日	内容	開会時刻	概 要
2月7日(火)	委員会	午前9時	議会運営委員会
2月14日(火)	本会議	午前9時	開会、議案上程
2月26日(日)		午前9時	代表質問
2月27日(月)		午前9時	市政に対する一般質問
2月28日(火)		午前9時	市政に対する一般質問
3月1日(水)		午前9時	市政に対する一般質問
3月2日(金)	本会議	午前9時	議案質疑
3月6日(火)	委員会	午前9時	予算決算常任委員会
3月8日(木)	委員会	午前9時	総務財政市民常任委員会・分科会
3月9日(金)		午前9時	環境建設水道常任委員会・分科会
3月12日(月)		午前9時	福祉健康常任委員会・分科会
3月13日(火)		午前9時	文教常任委員会・分科会
3月22日(木)	委員会 本会議	午前9時	予算決算常任委員会 討論・採決、閉会



# 11月定例会

会期11月28日(月)～12月21日(水)

## 概要

平成23年11月定例会は、11月28日(月)から12月21日(水)までの24日間の会期で開催されました。市長提出議案は、久喜市自治基本条例を含む19件、すべて原案どおり可決されました。また議員提出議案については、提出された4件のうち2件が原案どおり可決されました。請願4件は不採択となりました。

## 久喜市自治基本条例 ～修正案は否決され、原案可決～

今議会で議論が集中したのは、市の柱となる久喜市自治基本条例について。市民と市の協働によるまちづくりを推進し、個性豊かで活力に満ちた地域社会を実現するため、市政運営の基本原則や仕組みを明らかにした市政全般にわたる指針となる条例です。主な内容は、以下のとおりです。

- (1) 地域社会のめざす基本原則について
- (2) 市民の権利及び責務並びに議会、市長等の責務について
- (3) 市政運営の基本的な方針について
- (4) 情報の公開・共有、コミュニティの推進及び参加と協働の推進に関する基本的事項について
- (5) 広域的な連携及び協力等について

議会最終日の本会議では、これを審査した総務財政市民常任委員会から修正案(※1)が提出され、また、議員3名による修正案(※2)も提出され、原案とともに討論・採決されました。採決の結果、賛成23、反対10で原案のとおり可決されました。



### ◆委員会修正案(※1)に対する討論

【反対します】

猪股和雄議員(政策会議)

原案は市内の住民だけでなく通勤通学者など幅広い意味での「市民」の協働によるまちづくりを進めるものである。修正案は「市民」を住民だけに限定し、住民以外をまちづくりの協働から排除するものである。修正案文も未熟で他の条例との整合性も取れておらず、偏狭で独善的な修正案に反対する。

### ◆原案に対する討論

【反対します】

鈴木松蔵議員(飛翔)

本条例の必要性を感じない。市民の市政への参加についての「責任」や「役割分担」を果たせるのは一部の市民となる。「市民の意思」の捉え方が答弁では理解できない。議会としての責務が果たせない。国際交流にはまず日本の伝統文化を大切に、理解されるよう努力することが大事である。

### ◆議員提出修正案(※2)に対する討論

【賛成します】

木村奉憲議員(日本共産党)

自治基本条例は自治体の憲法であり、最高法規的なものである。市政に係わる重要事項で、住民の意思を確認し、ルール化するため「常設型」の住民投票制度を定めるべき。市内の選挙権を有する者の総数の5分の1の連署で請求でき、市長はその時住民投票を実施しなければならないとの修正案に賛成する。

### 猪股和雄議員(政策会議)

第27条の自治基本条例推進委員会は常設とし、みずからの発議で見直しを行うようにすべきである。25条の住民投票は、市民の一定の署名で請求があれば実施を義務付ける規定とすべきである。原案では市長がやりたくなければやらない、事実上、住民投票を否定する規定になっているので反対する。



## 久喜市国民健康保険税条例の一部を改正する条例 ～原案可決～

国民健康保険税率の統一及び国民健康保険事業の健全な運営を図るための税率等の改正です。主な内容は、以下のとおりです。

- (1) 賦課限度額を改めること
- (2) 基礎課税額等に係る所得割額及び均等割額を改めること
- (3) 低所得世帯に係る均等割額の減額について改めること

【反対します】

渡辺昌代議員(日本共産党)

今回の統一は合併によるものである。加入者に負担増をさせないために、法定外繰り入れの増額、医療費抑制の努力、軽減措置や国の補助率引き上げ要求などをすべきである。重い税負担は滞納世帯を増加させ、ひいてはいのちと健康を守りきれない悪循環になる。社会保障としての国保を遵守すべきである。

【賛成します】

猪股和雄議員(政策会議)

2年間も旧市町ごとの異なる税率で市民間の不公平が温存されてきた。今回の統一で、低所得や少人数世帯に不利な資産割・平等割を廃止し、所得割の比率を高めたのは適切である。来年度、一般会計からの繰入金を県平均並みに大幅増額して加入者負担を抑制する方針を打ち出したことは評価できる。

盛永圭子議員(飛翔)

今回の改正は、増え続ける医療費、減少傾向にある国保税収が起因している。社保から国保へ年間500人程度の加入者増による支出増、また合併に伴う課税体系の統一、今後見込まれる必要額等を見込み税率等を見直したものである。市民に負担を求めるものであるが、今回の改正は止むを得ないものとする。

# 提出議案とその結果

※付託委員会

(予) 予算常任委員会

(総) 総務財政市民常任委員会

(福) 福祉健康常任委員会

(決) 決算常任委員会

(環) 環境建設水道常任委員会

(文) 文教常任委員会

○…賛成 ×…反対 ▲…退席

飛翔……飛翔

政策……政策会議

公明……公明党

共産……日本共産党

無派……無会派

## ●11月定例会（市長提出議案）

議案番号	件名	会派名					議決結果
		飛翔	政策	公明	共産	無派	
議案第81号	平成23年度久喜市一般会計補正予算(第7号)について(予)	○	○	○	○	○	原案可決
議案第82号	平成23年度久喜市下水道事業特別会計補正予算(第3号)について(環)	○	○	○	○	○	原案可決
議案第83号	平成23年度久喜市水道事業会計補正予算(第3号)について(環)	○	○	○	○	○	原案可決
議案第84号	久喜市自治基本条例(総)	○8 ×8	○6 ×1	○	○	×	原案可決
	久喜市自治基本条例の修正案(※委員会からの提出)	○	×	×	×	×	否決
	久喜市自治基本条例の修正案(※議員からの提出)	×	○1 ×6	×	○	×	否決
議案第85号	久喜市部設置条例の一部を改正する条例(総)	○	○	○	○	○	原案可決
議案第86号	久喜市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例(総)	○	○	○	○	○	原案可決
議案第87号	久喜市税条例の一部を改正する条例(総)	○	○	○	○	○	原案可決
議案第88号	久喜市国民健康保険税条例の一部を改正する条例(福)	○	○	○	×	○	原案可決
議案第89号	久喜市国民健康保険税条例の特例を定める条例を廃止する条例(福)	○	○	○	○	○	原案可決
議案第90号	久喜市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例(福)	○	○	○	○	○	原案可決
議案第91号	久喜市障がい者施設条例の一部を改正する条例(福)	○	○	○	○	○	原案可決
議案第92号	久喜市路上喫煙の防止に関する条例の一部を改正する条例(環)	○	○	○	○	○	原案可決
議案第93号	久喜市消防団条例(総)	○	○	○	○	○	原案可決
議案第94号	久喜市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例(環)	○	○	○	×	○	原案可決
議案第95号	指定管理者の指定について【久喜市いちょうの木、久喜市ゆう・あい】(福)	○	○	○	×	○	原案可決
議案第96号	指定管理者の指定について【久喜市けやきの木、久喜市くりの木】(福)	○	○	○	×	○	原案可決
議案第97号	久喜地区消防組合の共同処理する事務の変更及び同組合の規約の変更並びにこれに伴う財産処分について(総)	○	○	○	○	○	原案可決
議案第98号	彩の国さいたまづくり広域連合を組織する地方公共団体の数の減少について(総)	○	○	○	○	○	原案可決
議案第99号	埼玉県後期高齢者医療広域連合を組織する地方公共団体の数の減少について(福)	○	○	○	○	○	原案可決

## ●11月定例会（議員提出議案）

議案番号	件名	会派名					議決結果
		飛翔	政策	公明	共産	無派	
意見第11号	「ごみ指定袋」導入について慎重に検討することを求める意見書	×	○	×	○	○	否決
意見第12号	生活保護制度の後退、見直しをやめ充実を求める意見書	×	×	×	○	×	否決
意見第13号	3種予防接種に関し、早期に国の制度確立を求める意見書	○13 ×2 ▲1	○	○	○	○	原案可決
意見第14号	防災会議に女性の視点を取り入れることを求める意見書	○	○	○	○	○	原案可決

## ●11月定例会（請願）

請願番号	件名	会派名					議決結果
		飛翔	政策	公明	共産	無派	
請願第4号	老後を安心して暮らせる国民健康保険へ、国、県、市の負担金を増額し国保税の引き下げを求める請願書(福)	×	×	×	○	×	不採択
請願第5号	安心して暮らせ、治療ができる国民健康保険税にすることを求める請願書(福)	×	×	×	○	×	不採択
請願第6号	国保税の引き上げをせずに引き下げを求める請願書(福)	×	×	×	○	×	不採択
請願第7号	安心して暮らせるため、国・県及び市から国保への負担金を増額し、国保税の引き下げを求める請願書(福)	×	×	×	○	×	不採択

# 討 論

11月定例会の最終日には、議案に対する活発な討論が展開されました。その概要を紹介します。

## ◆議案第95号 指定管理者の指定について 【久喜市いちょうの木、久喜市ゆう・あい】

### 【反対します】

渡辺昌代議員（日本共産党）

「ゆうあい」について、指定管理移行時、臨時職員の雇用など、待遇がしっかりと保障されていないことがわかった。以前の事例を考えると、福祉・教育に指定管理を容易にするべきではない。直営であれば、「のぞみ園」がそうであったように、理学療法士などの配置も市の判断で対応でき社会福祉を進められる。

## ◆議案第96号 指定管理者の指定について 【久喜市けやきの木、久喜市くりの木】

### 【反対します】

渡辺昌代議員（日本共産党）

指定管理候補者が提出した5年間の収支計画積算は、指定管理料・人件費とも毎年100万円近い増としており、曖昧。また、職員の雇用・待遇条件は市に権限がないことが明らかに。「けやきの木」では、自立支援法が適用されることから、利用者負担が出ることも明らかに。日本共産党は自立支援法には一貫して反対。

## ◆意見書第11号 「ごみ指定袋」導入について慎重に検討することを求める意見書

### 【賛成します】

園部茂雄議員（政策会議）

ごみ指定袋導入について市民への説明も不十分であり、市民の生活に直面した重要な施策の方向転換が久喜市議会、宮代町議会にも議案として審議されずに施行されることは問題であり、慎重に検討されたとは認めがたく、4月からごみ指定袋の導入は慎重に検討すべきであり、本意見書に賛成する。

木村奉憲議員（日本共産党）

久喜宮代衛生組合は、従来から「ごみげんりょう（減量・原料）化大作戦で全国のトップクラスの成果を住民の協力であげている。ごみの「指定袋」は県内での実施自治体数や人口比でも低く、減量効果もなく、住民への説明も不足。宮代町議会や多くの市民・団体が導入は必要ないとの声が大きく、検証や住民との議論が必要。

## ◆請願第4号～7号（国保税の引き下げを求める趣旨の請願4件）

### 【反対します】

梅田修一議員（飛翔）

東日本大震災の復興などから増税の議論がなされている中、国民健康保険だけに国、県からの負担金増は現実的ではない。市からの繰入金増も税負担の公平性から難しい。厳しい財政状況の中、国民皆保険制度を将来的に維持するために、全国民で一定の負担を分かち合わなければならない。本請願に反対する。

## ◆意見書第12号 生活保護制度の後退、見直しをやめ充実を求める意見書

### 【賛成します】

石田利春議員（日本共産党）

生活保護受給者の多くは、派遣切りなど再就職ができない若者や病気などで生活が維持できない方である。生活保護の受給額引き下げや支給期間の制限、医療費の自己負担導入などが検討されており、実施されれば負担増大から生存権がおびやかされる。仕事確保の条件整備を行うことも大切である。

## ◆意見書第13号 3種予防接種に関し、早期に国の制度確立を求める意見書

### 【賛成します】

杉野修議員（日本共産党）

年間に約3,500人が命を落とす子宮頸がんをほぼ予防できるワクチンと小児用肺炎球菌およびヒブワクチンについては、必要な接種回数を満たしていないことと低い接種率、そして高額な接種費用が課題である。これを解決するには、国の公費補助事業を24年度に継続することが欠かせないことである。

矢崎康議員（公明党）

この事業が今年度末をもって終了することは、対象者が今年度内に接種が完了できないおそれがあること、短期間での終了は、不公平感を助長することにも繋がりがかねないこと、女性や子どもを守る予防ワクチンの接種は、予防医学の観点からも、定期接種化されるまでは継続が必要であるため賛成する。



### 【賛成します】（4件の討論をまとめました。）

杉野修議員、石田利春議員、渡辺昌代議員、木村奉憲議員（日本共産党）

久喜市内の年金者組合、医療生協、および新日本婦人の会、民主商工会から提出された請願書は、市が提案している国保税引き上げに対して引き下げを求める内容で共通している。県内で比べても、こんなに高い税額では、払いきれない世帯や、それによる受診抑制を増やすという「悪循環」になる。



# 委員会付託議案とその結果

11月定例会では、19件の議案及び4件の請願が所管の委員会に付託され、審査されました。

## 予算常任委員会

○平成23年度久喜市一般会計補正予算（第7号）  
について **可決**

## 総務財政市民常任委員会

○久喜市自治基本条例 **修正可決**

○久喜市部設置条例の一部を改正する条例 **可決**

○久喜市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例 **可決**

○久喜市税条例の一部を改正する条例 **可決**

○久喜市消防団条例 **可決**

○久喜地区消防組合の共同処理する事務の変更及び同組合の規約の変更並びにこれに伴う財産処分について **可決**

○彩の国さいたまづくり広域連合を組織する地方公共団体の数の減少について **可決**

## 環境建設水道常任委員会

○平成23年度久喜市下水道事業特別会計補正予算（第3号）について **可決**

○平成23年度久喜市水道事業会計補正予算（第3号）について **可決**

○久喜市路上喫煙の防止に関する条例の一部を改正する条例 **可決**

○久喜市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例 **可決**

## 福祉健康常任委員会

○久喜市国民健康保険税条例の一部を改正する条例 **可決**

○久喜市国民健康保険税条例の特例を定める条例を廃止する条例 **可決**

○久喜市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例 **可決**

○久喜市障がい者施設条例の一部を改正する条例 **可決**

○指定管理者の指定について  
【久喜市いちちょうの木、久喜市ゆう・あい】 **可決**

○指定管理者の指定について  
【久喜市けやきの木、久喜市くりの木】 **可決**

○埼玉県後期高齢者医療広域連合を組織する地方公共団体の数の減少について **可決**

○老後を安心して暮らせる国民健康保険へ、国、県、市の負担金を増額し国保税の引き下げを求める請願書 **不採択**

全日本年金者組合 埼玉県本部 久喜市協議会 代表  
久喜支部 岡村光義  
栗橋支部 檜山富次  
鷲宮支部 大倉 至  
菖蒲支部 小林坦省

○安心して暮らせ、治療ができる国民健康保険税にすることを求める請願書 **不採択**

医療生協さいたま  
久喜支部長 木下順子  
鷲宮支部長 飯島征次  
栗橋支部長 坂本洋子

○国保税の引き上げをせずに引き下げを求める請願書 **不採択**

新日本婦人の会  
栗橋支部 代表 黒崎美芳  
鷲宮支部 代表 浜田正子  
久喜支部 代表 稲木正子

○安心して暮らせるため、国・県及び市から国保への負担金を増額し、国保税の引き下げを求める請願書 **不採択**

久喜・埼玉民主商工会 代表 池田佳二

## 議員名簿

議席番号	氏名(会派)	常任委員会	
		◎委員長 ○副委員長	
1	渡辺 昌代(日本共産党)	決算	福祉健康
2	石田 利春(日本共産党)	予算	総務財政市民
3	木村 奉憲(日本共産党)	予算	文教
4	杉野 修(日本共産党)	決算	環境建設水道
5	梅田 修一(飛 翔)	決算	福祉健康
6	井上 忠昭(飛 翔)	予算	総務財政市民◎
7	大谷 和子(飛 翔)	予算	文教
8	上條 哲弘(飛 翔)	予算	総務財政市民
9	園部 茂雄(政策会議)	決算	環境建設水道
10	春山 千明(政策会議)	予算	文教○
11	富澤 孝至(政策会議)	決算	福祉健康
12	田村 栄子(無党派)	決算	福祉健康
13	齋藤 広子(公明党)	予算	福祉健康
14	矢崎 康(公明党)	決算	総務財政市民○
15	鈴木 精一(飛 翔)	決算○	総務財政市民
16	並木 隆一(飛 翔)	予算◎	福祉健康○
17	田島 行雄(飛 翔)	決算	環境建設水道
18	鈴木 松蔵(飛 翔)	決算	福祉健康
19	盛永 圭子(飛 翔)	—	福祉健康
20	柿沼 繁男(飛 翔)	予算	文教◎
21	猪股 和雄(政策会議)	予算	文教
22	石川 忠義(政策会議)	予算	環境建設水道
23	新井 勝行(政策会議)	予算	総務財政市民
24	内田 正(政策会議)	決算	総務財政市民
25	岡崎 克巳(公明党)	予算	環境建設水道
26	足立 清(公明党)	予算	福祉健康◎
27	戸ヶ崎 博(公明党)	決算◎	文教
28	松村 茂夫(飛 翔)	予算	総務財政市民
29	青木 信男(飛 翔)	予算○	文教
30	宮崎 利造(飛 翔)	決算	環境建設水道◎
31	大鹿 良夫(飛 翔)	決算	環境建設水道
32	山田 達雄(飛 翔)	決算	総務財政市民
33	岸 輝美(飛 翔)	—	文教
34	鎌田 忠保(飛 翔)	決算	環境建設水道○

## 田村 栄子 議員 (無会派)

### 放射能汚染について

問 久喜市内で原発事故による部分的に高い放射線量を示しているところはないか。例えば通学路、側溝や草むらなど。また、学校敷地内の測定地点を多く測定すべきであるが。また、そのためには測定器の数を増や



現在市が保有している3種類の測定器

すべきであるがいかがか。

答 測定器は新たに4台購入予定である。当4台は各支所に配置される。また、本市では「久喜市放射性物資の汚染等の対応方針について」を策定し、局所的に放射線量が高いと予測される132施設において作業中である。除染の目安は毎時1マイクロシーベルト以上とし、測定箇所を1つから5つにする。

### 南栗橋液状化問題について

問 液状化被害対策の支援制度の中、災害救助法、財政救助法、取り崩し型復興基金をどの部署でどのように取り組んでいるか。被害者への対応の窓口を一本化にできないか。

答 災害救助法は埼玉県として適用は難しいと判断されている。南栗橋地区に真に必要な制度の導入を検討していく。被害に関する窓口は栗橋総合支所市民税務課に設置している。今後も継続中である。

## 梅田 修一 議員 (飛翔)

### 道路整備について

問 2012年の年末に開業する鷲宮南部開発地内のアリオ鷲宮ショッピングセンター周辺の市道鷲宮17号線と川越・栗橋線のクランク型の交差点は、交通量の激増が見込まれ、交通渋滞、交通安全の観点から早期の整備が望まれる。今後の対応は。



改善が必要なクランク型の交差点

答 見通しが悪く危険な状態を解消するため、今年度は市道鷲宮18号線

の路線測量と交差点予備設計の発注を予定し、警察や県との交差点協議等を進める。24年度以降、用地測量を行い、用地の取得と物件移転の協力に地権者の方々の承諾を得るよう努めたい。

問 鷲宮神社前通り商店街である県道鷲宮停車場線のバリアフリー化の工事は、歩行者の安全確保の観点から効果が期待される。完成までの見通しは。

答 工事施工者の埼玉県は、鷲宮図書館前から、商店街駐車場前までの市道鷲宮23号線交差点まで、延長約235mの区間の工事を行っている。24年度には、市道鷲宮5号線へ繋がる駅前通りの交差点までの延長約285mの区間の工事を行う予定である。

問 鷲宮神社前通りの市道部分もバリアフリー化を進め、一体的な整備を。今後の進め方は。

答 地元の方々と協議をしながら市道鷲宮1号線及び5号線についても県道部分と一体的なバリアフリー化となるよう、努めたい。

## 春山 千明 議員 (政策会議)

### さくら、すみれ保育園建て替えについて

問 さくら保育園の移転場所など両園の建て替えの進捗状況を伺う。また、新園舎は時代に合った観点で先進的な園舎を参考にするなど、さまざまな視点から建築計画をするべきだがいかがか。



さくら保育園移転候補地

答 さくら保育園の移転先は現時点で、

現在造成が進められている清久工業団地周辺土地区画整理事業地内にある住宅用地を移転先候補地として選定する。その用地に係る費用を平成24年度の当初予算に盛り込んでいく。

また新園舎は、太陽光発電システムの設置とLED照明の採用、また雨水貯水タンクの設置などを行っていく。園庭については子どもの心身の成長には豊かな自然環境に接することは大変重要なことなので、植栽等にも配慮していきたい。

その他の質問◇公共施設や駅前など、喫煙場所を見直し、受動喫煙しないように配慮するべきだがいかがか。◇学校業務員の任用方法を見直し、短い期間の任用としないようにするべきだがいかがか。◇交通指導員は学校や地域の要望を聞き、適正な配置となるよう新年度予算に反映すべきだが。また、指導員やボランティアの研修を充実させ、交通誘導の技能を高めるべきだがいかがか。



**石川 忠義 議員**  
(政策会議)

**水防事務組合に不適切な会計がある 改善を**

**問** 合併後、新久喜市として利根川の氾濫から市民を守る水防事務組合に改めて加盟した。しかし、加盟後の資料を調べると、昼食費の重複支出や本来の予算項目以外からの支出がされていたことが分かった。また、毎年度、当初予算の半額以上を支出せずに翌年度に繰越金として計上しており、予算編成上も問題だ。即刻、構成団体の久喜市として水防事務組合に改善を求めるべきであるが。

**答** 質問者の言う通り、不適切な会計処理があった。今後、構成団体の久喜市として水防事務組合に改善を求める。また、繰越金についても今後は、水防施設建設のための基金として改めて別会計にして、明確なも

**内田 正 議員**  
(政策会議)

**防犯・防災上から、空き家対策について**

**問** 管理不十分な空き家には、不審者の出入りや放火など防犯上の問題の他、災害時の危険もある。久喜市は、空き家の実態調査をしているか。廃屋、賃貸住宅など旧1市3町の件数は。

**答** 空き家の実態調査は実施していない。住宅土地統計調査によると、マンションやアパートなどの集合住宅も含めた空



**井上 忠昭 議員**  
(飛翔)

**医療問題について～救急医療～**

**問** 久喜総合病院が開院してこの地域の医療環境がどうなったか。(救急受け入れ状況に関して)

**答** 久喜消防における救急搬送先では、久喜総合病院が最多搬送先となっている。昨年最多であった済生会栗橋病院の搬送数は、これによって減少はしていないが、県外や市内の他病院への搬送数は減少をしており、このことから久喜総合病院が24時間、365日地域に必要とされる救急に対応しているものと考えられる。

**問** 済生会栗橋病院地域医療センターが開院する。このことから、さらに救急医療が向上するが、市は今後の医療環境をどう捉え、どう描いているか。

のとする。

**観光入込客の増加をはかるべきであるが**

**問** 市・観光協会・商工会とプロジェクトチームをつくり観光事業を推進し、来訪者を増やすべきだが。

**答** 市・観光協会・商工会と来年度中にプロジェクトチームを立ち上げて、市全体の観光入込客数増加につながる検討をはじめ。

**問** 久喜市は、吹奏楽やマーチングなどが全国の中でも優秀だ。これを踏まえ、例えば「音楽のまち」など観光事業のテーマを設定すべきであるが。

**答** 発足させるプロジェクトチームの中で検討する。



き家数は、平成20年10月1日現在、旧久喜市で2,980戸、旧菖蒲町で740戸、旧栗橋町で960戸、旧鷺宮町で1,380戸、合計6,060戸である。

**問** 防犯、防災上の観点から空き家対策をどのように考えているか。

**答** 空き家の適正管理は市民生活の安全を確保する上で課題の一つである。個人所有の家屋等に対し行政が直接対応することは難しいため、久喜市防犯のまちづくり推進条例を制定し、土地建物等の所有者等が自らの責務において、所有する施設の適切な管理や措置を講ずるものとしているが、現実的に実効性を発揮させるには難しい状況も認識している。

**問** 空き家の適切な管理を所有者に義務づける空き家条例を制定する考えはあるか。

**答** 防犯上の問題を解決する上での実効性や新たな事務に対応する執行体制の確保について検証が必要。既に制定した自治体の状況を調査研究したい。

**問** 3次救急医療へ取り組む前段として開設され、その後指定を受け、救命救急センターになれば、市内に初期救急医療から重篤患者に対応する第3次医療まですべてのレベルの救急医療体制が整備されることになる。これは本市を含む地域の皆様の安心となるものと考え、それぞれの医療機関の機能、特徴を生かした役割分担のもと、相互の連携を図り、地域の実情に応じた体制づくりが重要になっていく。

**要望** 救急医療の現状や現実を的確に捉え、行政としての役割を担い、この地域の医療体制のあり方をしっかりと描いていくべきである。



地域医療センター

## 富澤孝至 議員 (政策会議)

### 震災対策として業務継続計画を導入すべきだ

**問** 災害や事故後でも自治体が提供するサービスを維持、継続するための計画である業務継続計画について、ほとんどの自治体で議論されていない。

市民への対応の最前線に立つ地方自治体は、災害発生時に市民の生命や安全、安定した生活の早期回復のため、業務のボリュームが大きく増加することが考えられる。

職員の被災も免れない中で、必要な業務を遅滞なく実施するためには、戦略的な配分計画を検討しなければならないことから、業務継続計画を導入すべきである。

**答** 災害時であっても継続して行わなければならない通常業務を抱えている。

## 鈴木精一 議員 (飛翔)

### 高速交通網の充実について

**問** 高速バス路線の充実を図るべきだが。

**答** 京都・大阪行き的高速バスの運行から1年半が経過した。県東北部で高速バスが発着するのは本市のみ。

交通便利性の高い都市として、今後は青森、仙台、福島など東北の各都市等を結ぶ高速バスの路線拡大に向けた働きかけを事業者に行っていく。

**問** 高速バスター

宇都宮・鹿沼・栃木・久喜 ↔ 京都・大阪  
ノンストップ夜行高速バス  
とちの木号



## 石田利春 議員 (日本共産党)

### 南栗橋液状化災害復興に向け国の制度活用を

**問** 災害救助法が適用されれば「住宅応急修理」52万円など適用される。又、国の第三次補正で液状化対策推進事業では、民間宅地内において実施する公共施設(道路)などの液状化対策については公費で負担するとしている。適用に向け久喜市としても声を上げるべきと考えるが。

**答** 災害救助法の適用にはならないと埼玉県では判断している。宅地内の公費負担については詳細な事業内容を確認している。

### 医療費の窓口払い負担を軽減すべき

**問** (1)重度心身障害者の医療費窓口払い  
(2)ひとり親家庭等における医療費の窓口払い

市町村は大規模な災害の発生に際して、これらの災害対応業務と優先度の高い通常業務を災害発生直後から適切に実施する必要があり、体制づくり等を取りまとめた業務継続計画を作成する必要がある。

今後内閣府の作成した業務継続の手引や先進自治体の事例を調査研究していく。

**その他の質問** ◇防災士制度を市が率先してPRすべきだ。◇レンタルサイクルを設置し、観光客や仕事で訪れた方などに手軽に久喜市を楽しんでもらえるようレンタルサイクルの設置を提案する。



ミナルの整備を行う考えは。

**答** 群馬県太田市、栃木県佐野市などで自治体が整備した例がある。現在運行している高速バスの動向を踏まえながら調査研究していく。

**問** 特急電車の栗橋駅停車の実現は。

**答** 鉄道輸送力の増強要望を行っている。特急電車の栗橋駅停車に向け前向きな要望活動を行う。

**問** りょうもう号の久喜駅停車の拡大は。

**答** 現在、下り列車25本のうち14本、上り列車24本のうち14本が久喜駅に停車している。更なる停車に向け、引き続き要望活動を行う。

**問** JR宇都宮線の久喜駅始発化は。

**答** 久喜駅始発列車の要望を行ってきた。しかし、久喜駅のレール配線状況、留置設備がないこと、乗務員設備がないことで始発列車の設定は難しいとの回答を得た。そのようなことから、今後は古河駅を始発化する要望活動に取り組んでいく。

(3)国が定める特定疾病(人工透析など)1万円の窓口払いなどを撤廃すべき

**答** (1)窓口払い廃止を24年度実施に向け取り組む。  
(2)自己負担金をどうするかが課題、解決に向け研究していく。

(3)なくすことは考えていない。

**問** 医療費の窓口負担が「困難」な場合減免できる規定がある。久喜市でも一部負担金の減免をすべき。

**答** 実施に向け要綱を今年度中に策定予定している。

**その他の質問** ◇循環バスを栗橋・菖蒲・鷲宮地域にも。◇屋根瓦の破損に伴う減免申請、すべての人に。



復旧を進める南栗橋の被災地域



渡辺昌代 議員 (日本共産党)

平成24年4月からの指定ゴミ袋への統一について

問 久喜宮代衛生組合のこれまでの減量化の取り組みは、指定袋でなくても進められてきた。指定袋を導入しなければ減量化が進まないと考えているのか。

答 ごみの排出状況から不適切な分別の発生、不法投棄などの問題が発生している。市民の意識が変わることにより、今後の収集の在り方や



栗橋・鷲宮で使用されている袋 45ℓ 10枚 120円

木村奉憲 議員 (日本共産党)

税と社会保障の一体改革の問題点について

問 政府は6月に税と社会保障の一体改革の成案をまとめた。改革の財源で消費税10%上げを明記し医療、介護、生活保護などで、国民や市民に多くの負担増を強引に押し進めようとしている。これは本来の社会保障制度の理念が変えられ、暮らしや福祉の大きな影響を与えるものだ。医療分野では外来診療時に定額100円負担、70歳から75歳までの窓口負担2割への引き上げ、介護では要支援、要介護1などを介護保険から外す、生活保護では支給額の引き下げ、支給期限の有限化、医療扶助の自己負担導入など問題ではないか。

答 受診時の負担は外来患者減、受診抑制につながるものがあると考え。改正後も軽度利用者に本人の意

齋藤広子 議員 (公明党)

学校図書館の充実について他

問 学校図書館の充実を図るために不可欠な学校司書の配置はできないか。

答 司書教諭の学校図書にかかわる時間をふやすことにより、学校図書館の機能を高めたいと考えている。

問 高齢者宅を訪問するひとり暮らし高齢者等戸別訪問事業を取り組んではどうか。

答 民生児童委員と地域包括支援センターが連携し、ひとり暮らし高齢者等の把握に努め、見守りと生活支援を行っていく。

問 地域支え合いの仕組みが11月より久喜元気サービスとして社協が運営を始めたが、県の補助金がなくなる3年後の計画はどう考えるか。

メリットを考慮して指定袋を使用すべきと判断した。問 今回の統一は市民から疑問の声が出ている。合併による弊害ではないのか。そうならないようにするのが市の対策ではないのか。

答 廃棄物減量等推進審議会の中で決定された。ゴミの減量化が図られることにより総合的にプラスに転じる。市民に理解していただければと考える。

問 ゴミの出し方は地域で苦勞しながらコミュニティを作ってきた。それを後退させてはならない。旧久喜市は減量化を進めてきた。市民の声が届かない市政にはいけない。状況調査や意見の収集をして進めるべきと考えるが。

答 市民の皆様には大きな変革の中で負担をかけることもあろうかと思う。新市民として事業の統一は意識統一にもなる。理解いただけるよう努力する。

その他の質問 ◇児童館の増設を。◇南栗橋の液状化について◇各種税徴収のあり方、差し押さえについて。

向を尊重し、サービスを変わりなく行う。生活保護は国と地方と協議中、今後の動向を注視する。

放射能対策で市独自の基準値と測定器を市民にも

問 放射能対策で市独自の基準を毎時0.23μシーベルトとしたが給食への独自の測定器の購入を。また市民へ貸し出すためにもさらに購入を増やすべきだ。

答 除染等の対応方針の目安とした。給食へ対応は国民生活センターの測定器を

長期貸与したい。4台さらに購入した。ホットスポットの測定後、市民への貸し出しは検討したい。



栗橋西中のホットスポット除染対象地域

答 補助対象期間が終了した後も元気な高齢者等が支援を必要とする高齢者等を支え、市としても社会福祉協議会及び商工会等と図りながら、事業の推進を図っていきたいと考えている。

問 行政用語や専門的用語など市民利用者の利便性向上を図るためのHPの用語解説の辞書をリンクできないか。

答 専門性の高い用語などに解説を付すなどしてわかりやすいページづくりに工夫を加えていく。

2011年11月スタート! くき元気サービス ~地域支え合いの仕組みづくり~

くき元気サービスのチラシ

戸ヶ崎博 議員  
(公明党)

## 菖蒲総合支所の空き施設の活用について

問 現在の本多静六記念室を菖蒲総合支所の空き施設を活用・移転し「館」として充実させてはどうか。

答 本多静六記念室は平成12年度にアミーゴ内に設置し資料等展示してきた。しかしながら部屋の面積が約20平方メートルと手狭なために展示に限りがある。博士の業績をより一層顕彰するた



本多静六博士胸像

鈴木松蔵 議員  
(飛翔)

## 教科書採択の経過結果について

問 (1)熊谷市と行田市が単独採択しているが、説明を。(2)各地区での採択協議会では各委員の意見が表明されているものもあるが、本地区の協議会ではなかったのか。(3)今後採択の審議を公開すべきでは。(4)単独採択をしてはどうか。

答 (1)法により採択地区を設定し、同一の教科書を採択することになっている。熊谷市と行田市については、埼玉県教育委員会の決定に基づき、本年度から単独採択になった。(2)専門調査委員の報告をもとに学習指導要領が示した教科目標に適応した教科書が採択されたものと認識している。(3)今後の協議の公開は、公正確保を踏まえ、議論決定され则认为。(4)採択地区の

盛永圭子 議員  
(飛翔)

## 栢間小学校正門前に信号機の設置を

問 栢間小学校正門前に信号機の設置、また県道下石戸上・菖蒲線(小川牛乳店前)に手押し信号機の設置を要望したが、なかなか実現しない。事故があっては遅すぎる、早急に設置してほしい。

答 2カ所とも現場を確認して、久喜警察署及び埼玉県公安委員会へ設置要望をしている。栢間小正門前は



栢間小学校に元気に登校する子どもたち

めに、また来年は博士没後60年という節目にあたり、記念事業として菖蒲総合支所5階の議場を本多静六記念館として整備充実していきたいと考えている。

## デマンドバスの試行運行するために

問 公共交通検討委員会の答申が年内中に出されるが、その中にデマンドバスについては段階的に実証試験を設けてとある。市としての準備は、どう進めるのか。

答 本年中にも第6回公共交通検討委員会より最終的な報告書として市長に答申がなされる予定だ。それを元に、新たに設置する地域公共交通会議において検討されるが、デマンドバスについては実証運行等行いながら検証を進める。

## 選挙の投票所入場整理券の改善を

問 入場整理券の改善はどう検討しているか。

答 選挙人の皆様にわかりやすく見やすいものに、費用面も考慮し改善をすべく検討をしている。

決定は埼玉県教育委員会の決定による。

問 大東亜戦争の様々な見解がある。日本を占領したアメリカ軍司令官マッカーサーが朝鮮戦争を経て米国議会で証言したのは「日本が戦争を始めたのは、セキュリティ(安全保障・自存自衛)のためだった。」というものである。これは公的な場での公式な発言で、世界に公開されている。こういった事柄について、日本の歴史教育の中で補助教材をつくり子供達に与えることはできないのか。



答 今この場ではお答えできない。

朝夕の交通量も多く、道路もカーブしており危険である。県道下石戸上・菖蒲線(小川牛乳店前)は通学路に指定されているのでさらに強く要望する。

## 圏央道の進捗状況について

問 圏央道は平成24年に全線開通の見込みとなっていたが、開通目標が平成26年以降に見直しされた。今後の見通しはいかがか。

答 菖蒲パーキング予定地から栢間赤堀川の間については平成24年1月に工事に対する発注手続に入る予定である。桶川地区の用地取得は約95%と一部の協力が得られず、現地点では、目途が立たない状態である。引き続き、用地取得を推進し、早期に開通できるよう働きかけをしていきたい。

## 自殺防止について

問 市の自殺防止対策を伺う。

答 自殺予防普及啓発活動として平成24年3月発行の「広報くき」に掲載する予定である。



**鎌田 忠保 議員**  
(飛翔)

**平成24年度の市政運営について**

**問** 各課の予算要望の集計は約402億円の歳入に対し約474億円の歳出で72億の収支ギャップだが、合併により行政区域が広がった各地域に、公平な予算配分をする事と思うが、どのような予算編成を考えているか。

**答** 予算編成方針に基づき、市民の皆様が垣根のない一体感を感じられる町づくりを進めることを目指すとともに、各会派から提出された要望書等については真摯に受け止め、予算編成の中で十分検討しながら、各地区の実情を踏まえ、均衡ある予算として編成していきたい。72億円の収支ギャップを埋めるには新たに見込める財源に限度があるので、歳出削減の取り組み

**猪股 和雄 議員**  
(政策会議)

**放射能から子どもたちを守るために**

**問** 小中学校で、子どもたちの屋外活動を制限する放射線量の基準は毎時0.23<sup>マイクロ</sup>シーベルトと考えてよいか。具体的な制限の方法を公表すべきである。

**答** 0.23<sup>マイクロ</sup>シーベルトを超えたら4時間の活動制限とか、年間被曝線量が1<sup>ミリ</sup>シーベルトを超えないように屋外活動の制限方法を協議し、公表していく。



表土を削り取る除染作業 (栗橋西中体育館わき、1月4日)

**杉野 修 議員**  
(日本共産党)

**埋設ゴミは調査・処分し被災地のガレキの受け入れを**

**問** 障がい者デイケア施設「趣味の家」の移転予定地の土中から焼却場建設以前に旧町が埋めた大量のごみが出てきた。面積・総量などは調査したか。

**答** プールの西側だけを調べた。面積は980㎡。総量は約3,400㎡である。

**問** 当時「自由広場」や「東中校庭」にも埋設したと聞かすが、退職者等から聞き取り調査は行ったか。

**答** その場所についての聞き取りは行っていない。

**問** 100年かかっても調べるべきだ。一定量を処分したうえで震災被災地のガレキを受け入れては。

**答** 受け入れができるかどうかの回答は難しい。

として、真に必要と認める業務を選択していきたい。

**草刈条例の制定について**

**問** 空き地、耕作放棄地等権利者の管理が不十分な場合、草刈条例を制定したら良いと思うが行政としてはどのように考えているか。

**答** 現在、久喜市には空き地の環境保全条例が制定されており、市民から苦情が寄せられたら、現地確認の上、雑草を除去し、土地の管理を保全するよう口頭や文書で指導している。それでもやっていただけない場合は文書、勧告、命令、代執行という条例になっている。



枯れ草が繁茂している空き地

**問** 土壌の除染の基準として、面的には0.23<sup>マイクロ</sup>シーベルト、局所的には1<sup>マイクロ</sup>シーベルトとされたが、地表1cmでの測定値とすべきである。市立図書館や児童センターなどでも測定していくべきである。

**答** 局所的な測定については、地表1cmで測定していく。市内132か所の施設で測定していく。

**問** 学校給食食材料の放射性物質検査を実施すべきである。久喜市独自の検査体制を作るべきである。

**答** 国民生活センターの検査機器の貸与制度を活用するか、外部機関に委託しての実施を検討したい。久喜市で検査機器の購入は考えていない。

**その他の質問**◇小中学校の学期制の早期統一を。2学期制での統一は困難である、また2学期制の問題点をどう考えるか。◇思いやり駐車場制度の制度改善を検討すべきである。◇太陽光発電補助制度による地球温暖化防止効果の評価は。◇市の電力購入契約を東電以外の発電会社に切り替えを。

**青毛堀川の拡幅工事は「多自然型川づくり」で**

**問** この工事は、中央地域、鷲宮団地などの水害対策で重要だが、拡幅は現在の自然環境に配慮した工法が求められる。県・市は青毛堀川の周辺部に生息する動植物の生態系について把握をしているか。

**答** 生態系の調査はした。希少種も補足調査をした。

**問** コンクリートだけの護岸工事でなく「瀬」や「淵」のある曲がりや膨らみのある水際線にしては。そうすることによって多様な生態系の条件ができるが。国や県もそうした「多自然型」を実施している。

**答** 大容量の河川水を「流す」ことを主目的にしているので曲がりをつけるなどの工法は難しい。

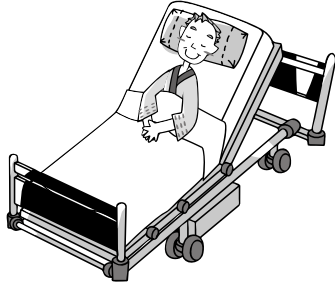


拡幅後も残したい青毛堀川の水環境

## 足立 清 議員 (公明党)

### 国民健康保険医療費適正化の取組み

問 久喜市では一人当たりの年間医療費は22年度、28万4694円掛かっており、県平均より1万3749円上回っている。国保加入者の高齢化や医療の高度化により、医療費が増大する中、国保制度をより安定的に運営のため、効果的な医療費適正化



対策の推進が重要である。(1)レセプト点検調査で重複受診・頻回受診・生活習慣病患者の把握等により、病気が重篤になる前に対策を講じることが医療費の抑制につながる。(2)ジェネリック医薬品への切り替えにより、医療費の削減ができる。呉市では受診中の国保加入者へ直接通知を発送し、後発医薬品への切り換えを進めた結果、約1億円の歳出削減ができた実績が出ている。久喜市も積極的に取り組むべきだが考えを伺う。

答 国保の医療費は年々増加しており、医療費の抑制は喫緊の課題である。(1)今年9月より国保連合会では、全国統一のシステムに切り替え、重複診療・頻回受診のデータを抽出できるようになり、本市でも訪問指導等を考えながら医療費抑制に取り組む。(2)増大し続ける医療費の抑制につながると考え地元医師会と調整する。

その他の質問◇災害時緊急エリアメールの配信を提案。◇災害時に於けるトイレ整備を提案。

## 岡崎 克巳 議員 (公明党)

### 「安心・安全のまちづくり」について

問 久喜駅西口のバスターミナル整備の再検討は。

答 今年度は企業送迎バス等の駐停車状況等を調査する。今後は調査の検討をふまえ、混雑の解消に向け、地元と協議しながら検討する。

問 市道久喜211号線の進捗状況、将来構想は。

答 駅西口から六間道路までの第1工区は、30mが未解決である。六間道路から杉戸・久喜線までの第2工区は、杉戸・久喜線の交差点整備を実施した。今後は、1・2工区合わせて整備する。

問 西停車場線に自転車専用レーンの設置は。

答 県道において、歩道部を破線と色で2分割し、歩道と自転車道を分離している例と車道部に余裕がある

路線で両側に自転車通行帯を設けている例がある。県では両タイプを検討したうえで実施、具体化していくとのことである。



歩道上の自転車専用レーン

問 杉戸・久喜

線の西側延伸を取り組むべきだが。

答 未整備区間約550mについて、杉戸県土整備事務所長あてに整備の要望書を提出した。

### 「防犯灯の設置」について

問 危険な場所の実態調査と設置基準の見直しは。

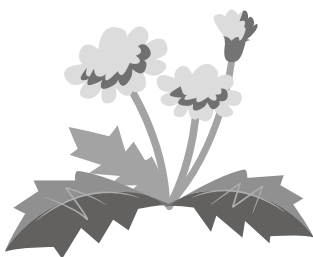
答 地域からの情報をもとに調査を実施し、防犯灯の設置に努める。実態に合わせて設置基準についても明確化していく。

## 田島 行雄 議員 (飛翔)

### 自主防災組織について

問 各地区の直近の自主防災組織の組織率は。

答 平成23年12月1日現在、久喜地区は29の地域で設置し組織率39.1%、菖蒲地区は10の地域で設置し組織率34.7%、栗橋地区は19の地域で設置し組織率40.9%、鷺宮地区は37の地域で設置し組織率73.3%。市全体は95の地域で設置し組織率は47.3%。



問 組織設立後の支援・指導等については。

答 自主防災組織補助金交付要綱に基づく補助金を活用し、より充実した自主防災活動が実施されるよう努めている。また、県防災学習センターを会場とした防災体験会のほか、県主催の自主防災組織リーダー養成講座への参加促進などを行っている。さらに、自主防災組織が行う防災訓練の際、要請により市の防災担当職員が出席し、連携を図り、ニーズの把握等を行い、活動の充実・促進に努めてきた。

問 区長会を初め各種団体との災害時の連携は。

答 被害状況やその対応に関する区長会議を開催し、連携を図りたい。市主催の防災訓練等を通し、ボランティア活動や防災活動の実践団体との連携を図り、災害時における支援体制を充実していきたい。

要望 自主防災組織が行う防災訓練に市職員の積極的な参加を。各団体からの災害時の協力内容の把握し、災害対策の中での位置づけを研究し準備を。



青木 信男 議員  
(飛翔)

菖蒲地区の下水道整備、都市計画税の導入について

問 浄化槽設置整備補助金、23年度に引き続き24年度も補助金が予定どおり継続されるのか伺う。

答 合併処理浄化槽の補助金は、23年度から県の補助金交付要綱が改正され、新築による新規設置への補助が廃止され、既存単独槽又はくみ取り槽からの転換設置の際に、本体工事とは別に配



合併処理浄化槽の設置工事

園部 茂雄 議員  
(政策会議)

ゆるキャラによるまちの活性化を

問 ゆるキャラグランプリで各自治体の取り組みが報道されて注目されている今、ゆるキャラによるまちおこし、地域振興のため、しょうぶパン鬼一君や来久ちゃんを行政としても積極的に活用し、活性化を図るべきである。

2011ゆるキャラグランプリ19位にランクされたしょうぶパン鬼一君や来久ちゃんを観光大使に任命し、行政としても支援すべきと思うが如何か伺う。

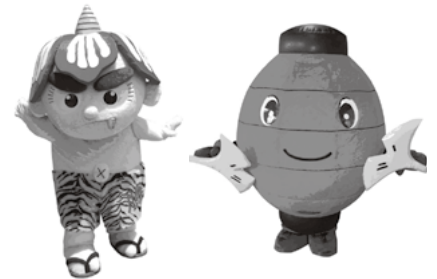
答 観光大使につきましては、その有効性については大きいものと認識している、今後久喜市の観光PRを進める上でゆるキャラを含めどのような観光大使のあり方が良いのか検討していく。

管費が新設、追加されるなど、転換設置に重点を置いた制度改正となった。本市においても来年度は県費補助を活用し、対象地域補助金額など見直しを行いながら事業を実施したい。

問 24年度、25年度から課せられる菖蒲地区都市計画税導入の見込額は。都市計画税は目的税。税収に見合った24年度、25年度の菖蒲区域での都市計画税のメニューについて、現時点での考え方は。

答 新市における税率は0.2%であるが、合併特例法の適用により不均一課税とし、菖蒲地区の都市計画税は22年度、23年度の2年間は0%、24年度は0.1%、25年度には他の地区と同じ0.2%とすることが合併協定である。菖蒲地区の都市計画税の24年度の見込額は、参考数値として、約5,000万円弱である。また、25年度以降は、税率が0.2%となり、約1億円と見込まれる。下水道事業や都市計画道路の整備など都市計画税の趣旨、目的に従い充当する。

問 ゆるキャラを住民登録し、住民票を発行し市内外にアピール、また市のホームページや封筒への印刷をすべきと思うが伺う。



【しょうぶパン鬼一】

【来久Likeちゃん】

答 広報等への掲載といろいろ応援等については、市の公有物に使うものであるから、ゆるキャラのあり方をもう一度よく商工会の方と検討し、位置づけを確定した中で広報等への掲載等についても検討していく。

その他の質問◇e-コミュニティ導入による情報発信について。◇原発事故による市の被害状況と補償問題について。

て研究して、ホームページの代理掲載についても協議していきたいと考えている。

問 防災担当部局に女性職員の配置を検討してはどうか。

答 防災業務において、備蓄品の検討や災害時における避難所の運営などの検討時、女性ならではの視点も重要であると考えている。今後の職員の配置については、業務内容を多角的な視点でとらえ、職員の意向、適性を総合的に勘案する中で適材適所の人事配置に努めたいと考えている。

問 福祉避難所の設置推進について、現状と課題、今後の取り組みについては

答 東日本大震災における被災地で避難者対応について、災害者要援護者や女性への配慮の必要性が求められ、福祉相談員や女性の相談員の配置が行われた。女性や災害時要介護者のニーズ等に対応できるように配慮していきたいと考えている。

矢崎 康 議員  
(公明党)

水害・災害対策の強化促進について

問 遠隔地自治体と連携した、災害時ホームページの代理掲載についてどう考えるか。

答 茨城県結城市との相互応援協定に基づき対応していきたい。地震の規模により、本市及び結城市の両方とも被災することも想定されるので、より遠隔の自治体との相互応援協定の締結につい



## 宮崎利造 議員 (飛翔)

### 公共基準点の誤差への対策について他

**問** 東日本大震災により、市で今まで設置、利用してきた基準点、国家座標に誤差が生じている。今後の公共事業や道路台帳の測量、基準点に影響は。また、土地の位置や地籍の的確な情報を得るためには基準点の改測または改算が必要。今後の取り組みは。



埼玉県園芸研究所内にある電子基準点

**答** 地震の影響により局地的に土地が大

きく移動した地域では、これまでの公共基準的な座標値が使用できない状況も考えられ、公共基準点の改測や改算は必要である。早急な実施を前向きに検討したい。  
**問** 渋滞解消のため、久喜駅東停車場線と都市計画道路青毛一下早見線の交差点信号機について右折信号機を設置できないか。

**答** 今後書面にて右折矢印信号機への改良を久喜警察署へ要望していきたい。

**問** 久喜市関連行事の市民へのPRについて。総合運動公園多目的広場にて行われた久喜地区消防組合の職員と消防団員合同の消防特別点検等、一般市民が見学できるようにPRすべきだが。

**答** 消防特別点検の市民周知については、例年久喜地区消防組合との連携のもとに、本年も「広報くきお知らせ版」10月15日号に掲載した。消防特別点検を初め、今後も団体と連携を図りながら関連行事等の市民周知に努めてまいりたい。

## 上條哲弘 議員 (飛翔)

### 公有財産の有効利用について

**問** 今後、自主財源をいかに積極的に確保するか、いかに支出を減らすかが重要だ。まちづくりに対する発想の転換が必要。公有財産等の有効利用について伺う。公有財産等を媒体とした広告掲載は可能か。



空いている懸垂幕施設の枠で収入も

**答** 玄関マットや懸垂幕施設、リース車両等に民間企業等の広告を掲載す

ることは、広告収入により収入の増加あるいはリース料の削減につながると考える。広告掲載取り扱い要綱の中で検討したい。

**問** 自動販売機の設置を、現在の使用許可から貸付契約に移行すると、仮に1台5,000円としても年間で444万円、1万円なら888万円となる。施設管理者は従前に比べて安定的な収入を得ることが期待できるが、貸付契約へ移行は可能か。

**答** 自動販売機の設置は、公平性、透明性の面から設置者を公募する自治体も増えており、全国的に広がっている。本市も貸付契約も含め検討する。

**問** 今後の管理運営方法について普通財産管理規定と広告掲載要綱を定める考えはあるか。

**答** 久喜市財産規則の改正または普通財産管理規定の制定など調査研究したい。また広告掲載要綱については、久喜市行政改革大綱実施計画に有料広告の導入等による歳入の確保の実施項目として位置づけ取組みたい。

## 大谷和子 議員 (飛翔)

### 久喜市放課後子ども教室ゆうゆうプラザについて

**問** 放課後子ども教室ゆうゆうプラザが久喜地域以外の小学校でも開校されてきている。現状と今後の取り組み等を伺う。

**答** 今年度の開校数は5校。市内23の小学校中、16校が実施。市内すべての小学校で開設を目指していく。放課後子ども教室運営委員会で本年10月～11月にかけて未開設の小学校を訪問し、学校や地域の実情を伺い、開設に向け情報提供を行った。さらにPTAや地域の集りなどで学校、保護者、地域と情報交換を行い、開設校について協議していきたい。

**問** 予算について。「非常に予算が使いにくい」と聞いている。また新規開校には手厚い印象だが、長く続

けてきた学校の備品等には対応できているか。

**答** 文部科学省と埼玉県から、それぞれ予算3分の1の補助金で実施。予算の積算は埼玉県放課後子ども教室推進事業等実施要綱に必要な経費の基準に基づき実施。予算執行は、市は手順についてマニュアル化している。各ゆうゆうプラザの実施委員会で説明し、理解をいただいている。今後も丁寧な説明を行い、研修会等で周知を図っていきたい。備品の購入は、埼玉県の要綱では開設初年度の一回限りと規定されている。既設校の備品税等については実態を把握した上で検討していきたい。



長須先生に野草の名前を教わる子どもたち  
(東郷宮小学校、自然観察教室)



## 委員会の視察及び議員研修

### 環境建設水道常任委員会

11月15～17日に環境建設水道常任委員会による視察研修を行いました。国土交通省東北地方整備局山形河川国道事務所（山形県山形市）にて「住民参加の道づくりについて」説明を受けました。また、バイオソリッドエナジー株式会社（山形県新庄市）では「下水道汚泥の処分について」説明を受けました。秋田市役所（秋田県秋田市）では、「中心市街地の活性化について」説明を受けました。



活性化に向けた中心市街地再開発事業を視察  
(秋田県秋田市)

### 福祉健康常任委員会

11月7～9日に福祉健康常任委員会による視察研修を実施しました。滋賀県彦根市にて「ひこね元気計画21推進事業について」説明を受けました。また、京都府立子ども発達支援センター（京都府京田辺市）では「子どもの発達支援について」、京都府家庭支援総合センター（京都府京都市東山区）では、「児童虐待等の家庭への支援について」説明を受けたのち、施設を視察しました。



ひこね元気計画 21 推進事業について視察  
(滋賀県彦根市役所にて)

### 文教常任委員会

11月7日に文教常任委員会による視察研修を行いました。群馬県太田市及び埼玉県本庄市において「2学期制から3学期制への変更」について説明を受けました。太田市立中央小学校では「環境教育とエコ改修」について説明を受けた後、施設内を視察しました。



太田市立中央小学校のエコ改修校舎

### 議員全体研修

1月19日に議員全体研修を行いました。はじめに国土交通省関東地方整備局利根川上流河川事務所（栗橋北）にて「利根川流域のハード、ソフトの危機管理体制の整備」について説明を受けた後、カスリン台風決壊口に整備された大利根河川防災ステーションを視察しました。続いて栃木県栃木市吹上公民館において、栃木市議会が行う「議会報告会について」説明を受けました。



利根川上流河川事務所（栗橋北）内にある  
災害対策室での研修

意見書

議員提出議案として提出され、可決された意見書を関係大臣等に送付しました。

- 3種予防接種に関し、早期に国の制度確立を求める意見書  
衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣
- 防災会議に女性の視点を取り入れることを求める意見書  
内閣総理大臣、総務大臣、防災担当大臣、男女共同参画担当大臣

本会議傍聴者数

11月28日(委員長報告・議案上程)	2人
12月1日(市政に対する一般質問)	23人
12月2日(市政に対する一般質問)	37人
12月5日(市政に対する一般質問)	11人
12月6日(市政に対する一般質問)	20人
12月8日(議案質疑、議提議案上程、委員会付託)	9人
12月21日(委員長報告、議提議案質疑・討論、閉会中の継続審査)	4人
合計	106人

委員会傍聴者数

11月21日(議会運営委員会)	0人
12月8日(議会運営委員会)	0人
12月12日(予算常任委員会)	0人
12月13日(総務財政市民常任委員会)	5人
12月14日(環境建設水道常任委員会)	0人
12月15日(福祉健康常任委員会)	14人
12月21日(議会運営委員会)	1人
合計	20人

編集後記

年が明けて、元日に、大きな地震がありました。

思い返せば、昨年(2022年)の3月11日の東日本大震災、それに伴う原発事故、そして市内では特に南栗橋地区の液状化による甚大な被害が発生しました。前号までの編集後記にも3月11日の関連記事が書かれていましたが、被災された方々の一日でも早い復興を願うばかりです。

一方で、市内在住の川内優輝選手などの活躍もあり、勇気づけられた年でもありました。久喜市も合併して3年目の年になるわけですが、明るい話題の多い年になって欲しいものです。更に人とのつながりを大切に、安心安全な街づくりに取り組んでいくことが必要だと感じます。

寒い日が続きますが、お身体を大切に！  
議会は2月14日からです。(柿沼)

◆コスト表示…平成23年度の久喜市議会だよりは、1部当たり9.12円で製作しています。

陳情

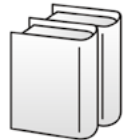
- 埼玉県特別支援学校放課後児童対策事業から国の自立支援改正法施行に伴う「放課後等デイサービス」移行に関する久喜市における給付についての陳情書  
久喜特別支援学校・おひさま学童クラブ  
会長 原みよ子
- 陳情書(久喜市公的審議会等委員への宅地建物取引業者の登用に関する件 他)  
埼玉県不動産政治連盟 埼玉地区長 櫻井道正
- 地球社会建設決議陳情書  
荒木寛
- 陳情書(久喜市が違法に青毛<sup>おおげ</sup>の地名をアオゲ登記した理由検証のお願い)  
関口博
- 陳情書(久喜市自治基本条例案の丁寧な審議を求める件)  
未来工房ハッピー久喜 代表 後上民子

議会を傍聴してみませんか

- 市議会は皆さんが自由に傍聴できます。  
本会議 定員50人  
委員会、全員協議会、議会運営委員会 定員15人
- 手話通訳をご希望の方は、事前にお申し込みください(日程等については、ご相談に応じます)。  
議会事務局  
TEL0480-22-1111 (内線5112)  
FAX 0480-21-6061  
議会のホームページでも傍聴についてご案内しています。

議会の詳細は「会議録」で

議員の発言内容を詳しくお知らせになりたい方は、議会事務局、県立及び市立図書館、公文書館で「会議録」が閲覧できます。また議会のホームページからも「会議録」の検索・閲覧ができます。ぜひご利用ください。  
なお、11月定例会の会議録は校正事務の都合上、閲覧・ホームページへの掲載は、2月中旬頃になります。



広報委員会委員

- ◎ 大谷 和子
- 園部 茂雄
- 石田 利春
- 井上 忠昭
- 田村 栄子
- 齋藤 広子
- 盛永 圭子
- 柿沼 繁男
- 猪股 和雄
- 岸 輝美
- 梅田 修一

(◎委員長 ○副委員長)



